

満場一致で「職場の雰囲気が良い」！ 専門薬剤師の資格取得など、スキルアップ を応援する体制も嬉しい環境



糖尿病薬物療法認定薬剤師
西陣病院 薬剤部 部長 / 日本糖尿病療養指導士
牛嶋さん



西陣病院の特徴と薬剤師の仕事について

西陣病院は地域に密着した医療を行っており、日本糖尿病学会認定教育施設として、患者およびスタッフ教育に力を入れています。現在薬剤師は13名で、調剤業務や病棟業務、医薬品情報管理業務などを行っています。病棟業務では、外科系、整形外科系の急性期2病棟と内科系（主に消化器、循環器）急性期2病棟に各2名、包括ケア病棟に1名の薬剤師を配置しています。また、病棟業務だけではなく、薬剤師の基本である調剤業務を大切にしています。入職1年目の5月から各病棟を2〜3か月ごとにローテーションして、薬剤部OJT制度により、各病棟担当と一緒に薬剤部の業務を一通り経験します。

病院のアピールポイント

職種間の垣根が低く、医師や看護師その他の医療職種と相談しやすい環境にあります。調剤業務だけではなく、さまざまな業務に関わることができるため、多くのことを学ぶ機会があります。薬剤師の人数は少ないですが、専門・認定薬剤師に興味を持っている者が多く、各々が専門・認定薬剤師の資格を取得しています。異なる専門性を持つ薬剤師同士の情報交換がとても活発です。入社数年で院内の会議や委員会のメンバーになって活躍しています。責任が重く感じられるかもしれませんが、乗り越えたとき大きなやりがいを感じるとともに、早く独り立ちできる環境にあります。

薬剤部スタッフの声

調剤、ミキシング、在庫管理や病棟業務など、幅広い仕事をしています。責任のある仕事が多いので、大変ではありますがそれがやりがいでもあります。資格取得後は、院内の糖尿病対策委員として、患者教育に力を入れて取り組んでいます。



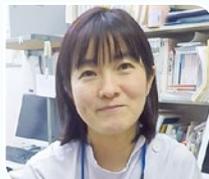
●安田さん (日本糖尿病療養指導士)

大学の研究室の先生から西陣病院のことを教えてもらい、病院のHPなどを見て応募に至りました。初めて見学したときから病院全体の雰囲気の良さを感じました。部内や院内の他職種との垣根も低く、和気あいあいとした空気の楽しい職場です。



●楠さん (2020年入社)

勉強したいことや取りたい資格があると、みんなでバックアップする雰囲気が魅力的です。研修や勉強会に参加するときにシフトを代わってくれたり、学会発表があるときは部内で発表の練習をして意見や改善点を出し合ったりしています。



●大竹さん (NST 専門療法士)

求める薬剤師について

病院には、患者や他の職種がたくさんいるので、コミュニケーション能力は大切です。また、他人の意見を聞き入れて自分の意見を変えたり考えたりできる柔軟さを持っていることも大切だと思います。

病院薬剤師を目指している方は、目標を持って就職されると思うのですが、必ずしもあらかじめ「やりたいこと」を持っている「必要はありません。私は、学生時代に透析医療をまったく知りませんでしたが、入職してから興味を持って勉強しました。日々のさまざまな業務の中で興味・関心を持てることを見つけて



いただければいいと思います。

取材協力 ●西陣病院
〒602-8319 京都市上京区五辻通六軒町西入満前町1035
TEL : 075-461-8800